

# 畑かん事業と畑かんの役割は

畑かんモデル事業では、試験作物があったと思うが、どんな作物にどんな結果が出たのか。

## 所得向上が

見られる

**町長**  
営農推進本部では、平成三年から作物別水使用

術実証をカボチャ・サトイモ・にんじん・なす・メロン・菊・茶・飼料作物を実証検討してきた。

品質面で、カボチャ一〇九%、サトイモ収量面で一三〇%、茶においては、一・二八%の所得向上が見られた。又、これまでの実証成果を各品目ごとに整理して作型別かん水モデルの手引書を作成する計画もある。

施設野菜や施設果樹では維持拡大に努め、特にサトイモ・キャベツを土地利用型作物の重点品目と位置付け、農地集積、機械化体系の確立を推進していく。又、甘しよは加工用の用途開発や新しくハウス栽培も調査検討すべき問題と考えている。

## 町長

### サトイモ・キャベツを重点品目に

## 重点品目は何か

### 上原議員

今後、水を利用して何を作付けしようとしているか。

### 加工工場を

### 誘致する考えは

### 上原議員

価格安定のために、生

産物に付加価値をつける加工工場が必要と思うが、誘致する考えは

## 積極的に取り組む

## 町長

農産物に付加価値をつけることは、有利販売にもつながると思われる。特に甘しよは、今後も、災害にも強く輪作体系上

欠かせない作物と思われるので、まだ公表できないが、加工工場を含めて積極的に取り組んでいく。

## 散水施設に対する助成の考えは

### 上原議員

散水施設は農家負担となつていますが、畑かん利用率を上げるために設置器具の助成は考えられないか。

## 八割弱の助成で

## 町長

近隣町とのバランスで散水施設も二割強自己負担で、十五年償還などの分割払いも可能である。

## 排水路整備は

### 上原議員

シラス対策事業で施行できなかった排水路について新排水路整備事業は考えてあるのか。

## 積極的に取り組む

## 町長

今後、対象範囲を更に拡大して対応したり、施行済箇所も再度見直しのための事業を導入、緊急を要するものは機械借上料などの既定予算や、廃トラフなどの有効活用と組み合わせながら積極的に取り組んでいく。

## 農業の基本は

## 畑の向き

### 上原議員

過去に整備された畑の向きは道路を中心に決められてきた。今後、農業の基本は、畑の向きが重要であると考えるが、下永吉地区の整備の青写真は

## 段階的に取り組んでいく

## 町長

現在のところ、ほ場整備、排水設備、農道整備が一体となった再区画整備が行われていないため、これらの整備を行った後、工事を行うことが必要である。汐入川の河川改修などの要件が整った時点で段階的に取り組んでいく。